

# いたちかわらばん

鮎川・狹川・川原番・瓦版 創刊号



版画 宗森英夫

《昇龍橋》現存する横浜市内で最古の石造アーチ橋といわれている。石材は鎌倉石使用。

## いたち川の自己紹介

はじめまして。わたしの名は「いたち川」です。横浜で一番綺麗だと栄区の人たちはもちろんです。遠くからも見に来てくれます。体長は東から西へ約9kmあり、柏尾川に合流します。

むかしむかし、まだ、鉄道も自動車もなかった頃、わたしは今よりも働き者でした。舟を浮かべて人や荷物や材木を運んだし、稲や野菜を育てたし、炊事や洗濯、掃除に水撒き、なんでもござれでした。

コイ、フナ、ハヤ、ドジョウ、ウナギ、カワエビ、タニシ：いろいろないたち、子供を泳がせてあげると大喜びしてくれました。

普段は、おとなしいのですが、大雨が降ると急に暴れて周りに大迷惑をかけたので、戸塚の暴れ川とも呼ばれ、改修されて三面をコンクリートで固められてしまい、ちよっと息苦しくなりました。

わたしの周りにほとんど家が建ち、汚い水も飲まされたので、病気にもなりましたし、魚達も死んでしまいました。でも、今は回復の改修工事をして貰って、子供達や魚達とも遊べます。

「アッ おサカナがいるー」「見てーこっちにもいるよ」「鳥もいるよ」…元気な声を、そばで聞くとホント嬉しいですね。

みなさん、近くへ来てよく見て下さいね。

「かわらばん」には「瓦版」「川原(の)番(人)」など様々な意味と願いが込められています。多くの人に読まれ、意見や提案、感想などを寄せていただけるようおまちしています。

独川OTASUKE隊 同 (045)227-0005

## 春のお知らせ

事後談情報

これから情報

**第6回いたち川シンポジウム**  
—いたち川をきれいにするには—  
3月28日(土) 神奈川地球市民プラザで行われました。  
いたち川と親しむ会っていろんな活動してるんですね。感動!  
主催/いたち川と親しむ会

**ホテル情報**  
瀬上市民の森・横浜自然観察の森で、6月10日頃から20日頃まで源氏ホテル6月25日頃から末頃まで平家ホテルを見ることが出来ます。  
○ホテルの持ち帰りはやめましょう。  
○車でのご来場はご遠慮ください。

**小長谷橋の川掃除**  
日時/6月7日午前10時～11時30分  
主催/いたち川と親しむ会

**ホテル観察「瀬上」!**  
日時/6月20日 午後7時30分現地集合  
主催/いたち川と親しむ会

**いたち川大清掃!**  
7月下旬頃、毎年恒例のいたち川の大清掃が行われます。(7月は河川清掃月間月間です。)  
問合せ/栄区役所地域振興課 地域活動係 ☎045-894-8391

**矢沢堀小川アメニティ トンポ池づくり!**  
今整備中の矢沢堀の上流にトンポ池を作る予定。夏頃に参加者の募集を考えています。詳細は未定。  
問合せ/栄土木事務所 ☎045-895-1411和久井

**荒井沢市民の森開園!**  
5月24日(日) 人が自然を守りながら豊かな自然を満喫できる場所として、荒井沢市民の森が開園。開園式はこくらく広場にて行います。  
問合せ/☎045-892-0053本間 045-892-6898西岡  
主催/荒井沢市民の森愛護会

**学習会「企業におけるゴミ減量の試み」**  
キリンビール、エコハウス、ハウスメーカー2社を予定。  
日時/4月30日(木) 14時より  
場所/神奈川県生活サポートセンター 404号室  
主催/横浜・ゴミを考える連絡会  
問合せ/西岡政子 ☎FAX045-892-6898

**CANからのお願い**  
～アルミ缶回収します～  
地域作業所CANでは障害のある方の活動としてアルミ缶のリサイクルを行っています。ご協力出来る方はお気軽に声をかけて下さい。また持ち込み大歓迎です。  
問合せ/CAN ☎045-894-7297

次号に載せたい情報がある方は7月1日までに下記事務局までお知らせ下さい。

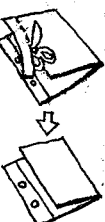
<p>天気の良い日には城山橋から下流をランニングしています。(ことりのPAPY)</p>	<p>いたち川とは、20年のお付き合いで生活させてもらってます。(水人子)</p>	<p>ふるさとの川にむかひて云ふことなし一合掌(よしのぼり)</p>	<p>(谷 梁) いたち川情報マップでは水源調査を担当しました。</p>	<p>川は都市の中の回廊。多様な生命を育み癒れたヒトの心を解放する。(すみれ)</p>	<p>(いもり) 本名は左右対称の文字ばかりで印鑑を彫るとき便利です。</p>
<p>となりの流域に住んでいます。時々海で会うね。いたち川。(「他声」たごえ)</p>	<p>平成10年1月豪雨の中で見たいたち川がとても印象的でした。(ぜっぺき)</p>	<p>ネコの手を借りたはずなのに…何もできなくてゴメンナサイ。(野良にゃん)</p>	<p>いたち川と親しんで数年(南口)</p>	<p>いろいろ恋人がいて、いろんな話が聞けて楽しいです。(うぐいす)</p>	<p>毎日川と顔を合わせお話し出来る幸せを感じています。(あひる)</p>
<p>この川が地域の方々に守り育てられ、もっと豊かになっていきますように。(たっちー)</p>	<p>清流「いたち川」を介して人と人の輪が広がるよう願っています。(「去人」きょじん)</p>	<p>OTA隊では新参者です。いたち川が楽しい川になればいいなあ(とりすき)</p>	<p>いたち川と親しんで数年(南口)</p>	<p>目下活動お休み中…でも川掃除だけは続けます。(いたちの父さん)</p>	<p>(AKUTO・安) 巡りゆく出で立ち川の川べりに人・街・森の環と和と輪とツッ!</p>
	<p>この川が地域の方々に守り育てられ、もっと豊かになっていきますように。(たっちー)</p>	<p>「中之島魚道」なかのしまぎょうどう</p>			<p>柏尾生と2人3脚流れたついでに大きくなったなあ(ピカソ)</p>

( )内はペンネームです。

**次号予告:** 夏号になりますので、子供の頃の水遊びなどの思い出がありましたらお寄せ下さい。

発行年月日 1998年4月  
発行 : 独川OTASUKE隊 (いたちかわおたすけだいたい)  
事務局 : 栄区役所区政推進課企画調整係内 (お便り・お問い合わせはこちらまで)  
〒247-0005横浜市栄区桂町303-19 ☎045-894-8331 FAX045-895-2260

この部分を切り取ってファイルすると便利です。

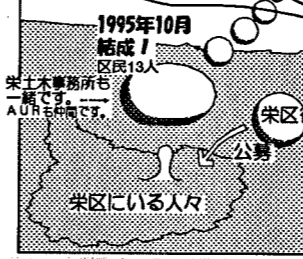


●情報紙「いたちかわらばん」発行98.4  
○荒井沢ホタルを見る会に参加

●「いたちが@ワッ!ミュージアム」開催97.3.2  
○親子で野鳥を見る会97.2.22  
○いたち川チャリティー97.2.13~3.27  
○実行委員会97.1.8~2.17  
○企画会議96.11.28~12.10  
○矢沢堀・水路計画案づくり96.11.14~28  
○ワクさんのいたち川魅惑スボットツアー96.10.6

●独川情報マップ完成  
○人まち横丁展に参加  
○柏陽高校理科部と交流  
○金沢地図博覧会に参加96.3.10  
○本郷中学科学部と交流96.3.6  
○金沢地図博覧会実行委員会に参加96.2.19  
○地域の歴史ヒアリング(北条祐勝さん)96.1.20  
○水源さがし  
○地域の写真家との出会い(林茂夫さん)  
○地域の歴史ヒアリング(柳下健兵衛さん)96.1.13  
○ウォーキング&マップづくり95.11.11~12  
○川沿いウォーカー・アンケート95.10.22

### 独川OTASUKE隊 …いたちがわをたすけたい… の活動と経緯



### 独川OTASUKE隊のおいたち

いたち川OTASUKE隊は、1995年(平成7年)10月の誕生。今2歳半です。栄区役所と栄土木事務所が、いたち川にボトンと落とした水溝が、いたち川流域一帯に跳ね返り、小さな13箇のしずくができました。区役所に集ったしずく、つまり私達は、様々な関心と仕事と背景から、「我が地帯・いたち川」を語り合いました。会の名前は、いたち川を助けたい!という願いから。かつて、流域一帯の生活の糧であった頃の生き生きとした川を取り戻したい、との思いにあふれていたのです。

ところが私達地元住民が知らないだけで、いたち川は、都市内河川整備のモデルとして、けっこう全国に名を馳せていたのです。そんな知識を得たりもして、私たちに今できることは何か、何から始めたらよいかを話し合いました。

### 第1期「独川情報マップ」づくりの時代 (1995年10月~1996年3月)

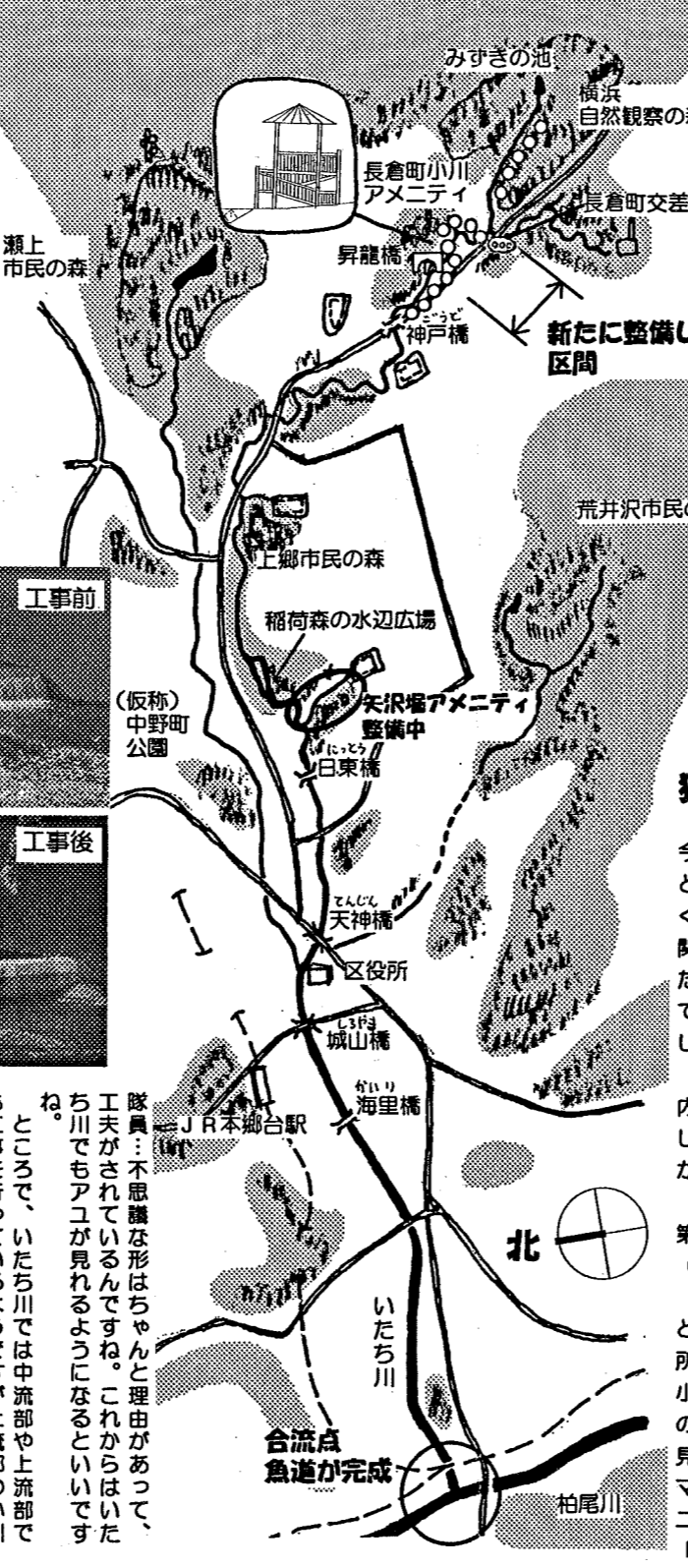
人々がいたち川に関心を持ち、気軽に歩ける案内地図を作ろうと、情報収集を開始。生物・歴史・地形、水源、ゴミや排水、見所スポットなど、様々な角度からいたち川を見つめ直しました。小中学生や高校生との交流、町の古者のお話、鳥を撮る写真家との出会い。月に1~2回のミーティングを重ねて、次第に全体像が見えてきました。素敵な女性イラストレーターの手で完成したマップの配布は1996年8月です。川を通じて、人と人を結びつコミュニケーションの道具として人々の手に届けられました。また、「金沢地図博覧会」や「人まち横丁展」にも出展しました。

### 第2期「いたちが@ワッ!ミュージアム」の時代 (1996年9月~1997年3月)

独川情報マップの反響を受け、いたち川に関心を持つ人々が交流できるイベントを計画。流域の荒井沢で畑作業を楽しむ緑楽塾とともに、実行委員会を結成。いたち川とその流域に関わりある、自然、文化、教育、生活、まちづくりなどのグループに、参加を呼びかけました。JR本郷台駅前ギャラリーでのいたち川100景のスケッチや野鳥の写真的展示に引き続き、1997年3月2日(日曜日)、区役所新館1階に、一日限りのいたち川流域が出現。床に敷いたブルーのカーペットをいたち川に見立て、その両側に活動紹介パネルや模型を展示。いたち川に棲む魚の泳ぐ水槽や、多自然型工法のミニチュアの展示、荒井沢産の糶麦団子、湧き水で入れたコーヒーマシンのもてなし。川べりおしゃべりコーナーでのいい話など、多彩な内容で構成。いたち川の過去・現在・未来を見据えることができました。来場者は予想を上回る500余名。

### 第3期「いたちかわらばん」と歩む時代(1997年9月~)

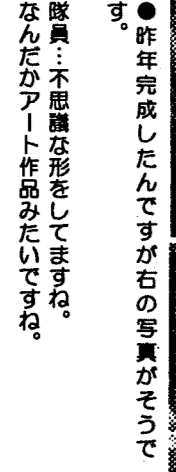
2年間に、緑の仲間も増えました。都会の中に残された自然の川を周辺の緑あられる市街地の環境とともに守り育てていくためには、地域に住む人々の理解と協力が何よりの支えです。いたち川とその流域一帯に巻き起こる風をとらえて、この地域に関心と愛を持つ人々のネットワークが生まれることを目指しています。  
(AKUTO・宏)  
活動に関心のある方は事務局(裏面編集後記に記載)までご連絡ください。



### いたち川は今 突撃インタビュー 栄土木にきく!

いたち川の工事について、栄土木事務所の方にお話をうかがいました。  
聞き手:独川OTASUKE隊員

●いたち川が柏尾川に合流するところはいたち川の川底のコンクリート面が柏尾川より1mほど高くなっている、小さな滝のようになっていたんですよ。だから小さな魚は登れなくて、いくら清流と呼ばれるいたち川でもアユは登れなかったんですよ。  
そんなこともあって市民の皆さんからアユが登れる川にしてほしいという要望を沢山頂いでいました。



●昨年完成したんですが右の写真がそうです。  
隊員:不思議な形をしていますね。なんだかアート作品みたいですね。

●ええ力作です(笑)。川幅いっぱい広がった「すり鉢状の魚道です。すり鉢の中に、魚が登りやすいように石を置いたりくぼみをつくったりしてあるんですよ。完成した瞬間から魚が飛び跳ねてくる音が感動的でした。最近ではこの魚を狙うアオサギやコサギをみかけるようになりまして。

●いたち川のアメニティでは、ふたつのルートの敷設路を整備しているんです。ひとつは川の中の渡り石を歩けるルート。もうひとつは川沿いを歩けるルートです。しかもこの昇電橋から上流部にかけては、地形上の理由から一部の区間は川の中を歩くルートしか整備されていなかったんですよ。それで隣接する小山の中の公道敷きを利用して敷設路を設けて、小山の頂上に展望台として「あすまや」を作ったんですよ。

●神戶橋から長倉町の交差点付近までの1km弱の小川アメニティになります。また、そこから約200mほど上流に行くくと長倉町小川アメニティというのがあって、横浜自然観察の森とつながっているんです。お蔭の散歩コースになると思いますよ。

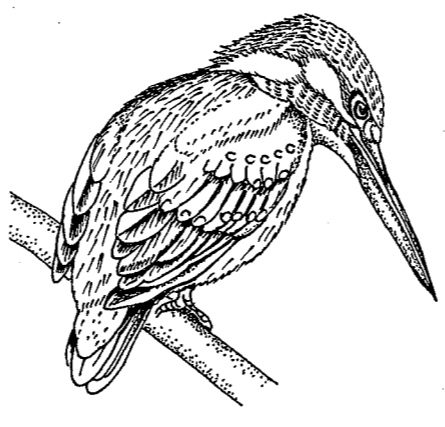
詳しい情報は... 栄土木事務所下水道係まで ☎045-885-1411

### リレートークの1 「独川情報マップ」の行方

「独川情報マップ」は一体どんな運命を辿っているのでしょうか。私の元から旅立ったマップを例に取りますと、朝の散歩で出会う方が「北海道で勉強している子どもに『独川情報マップ』を送ってやりましたよ。」と嬉しそうに話されました。また、シヨギンクしている外国からの留学生と話し金髪の女性は後日、「ステキなマップアリガトウ、ミンナアルイテミマシタ。」と報告してくれました。マップは彼女の元から故郷の両親の元へと送られたかもしれません。「こんな所に住んでます...」

昨年三月の早朝に、岐阜県から車で「新聞に載っていたので」と川見学に見えた、高校の生物の先生父子に出会いました。短時間の予定でしたが駅前駐輪場の展示も見て頂きマップの土産に大喜びでした。  
五月には千葉市稲毛区の水路を美しくする会の皆さんがマイクロバスで大勢お見えになり、十枚マップを差し上げました。「コンクリートで造成された川も自然が残されている川もきれいにしたい。」が共通の願いです。  
『独川情報マップ』の果たす役割も、故郷を憶ふすがたであったり、自然を見直す教材であったり様々ですが、大切にされ役に立つ事を願っています。(あひる)

### いたち川周辺の生き物① 水辺のハンターカワセミ...



いたち川では全域でカワセミが見られるが、特に上流に多い。八軒谷バス停付近から昇電橋、権現橋あたりでは年中見られる。  
『横浜自然観察の森』の『みずきの池』では、休日には必ず熱心なウォッチャーがカメラを構えてカワセミをねらっている。繁殖期には、雄が雌に魚を持ってきて与える求愛行動も見られる。  
二羽いればつがいが多いが、時々たま三羽いることがある。巣立ったばかりの若鳥が一緒に行動することが多い。普段はほとんどが単独行動である。  
ひすい色の上面(背)と橙色の下面(腹)を持つ美しい鳥で、飛んでいる時のきらきら輝く姿は、まさに宝石である。この鳥の魅力に取り付かれたカメラマンが多いのもうなづける。  
水面すれすれにチーと鋭く鳴きながら青い矢のように飛んで、水の中の杭や、水の上に出ている横枝などにとまる。魚をねらって、同じ所に長い間じっとまっていることが多い。飛び立ったかと思えば、急降下して水につっこみ、くちばしで魚をとると近くの枝にもとつてのみこむ。

天神橋日東橋をテリトリーとして往復していたり、海里橋日東橋をテリトリーとしていたり、その時々で縄張りをつくる。  
一時は川の汚れと共に数が減っていたが、最近はかなり復活している。  
心ない密漁者がいることは大変残念なことです。(いも)